

4つじよの 防災“お助け丸”

★★宗像市総合防災訓練★★

9月12日(土)、宗像市総合防災訓練が行われました。
メイン会場は大島で、市・消防署・自衛隊等が参加して行われました。
この訓練の一環として、日の里4丁目でも防災訓練を行いました。

■情報伝達訓練

「大雨による浸水被害が発生、一方で宗像市を走る西山断層を震源とする地震で家屋が倒壊した。」との想定で、町内会長から町内会役員に避難勧告を伝達。

■避難訓練

- ①自主防災会役員は、日の里東小学校の校庭(指定避難場所)に集合(避難)する
- ②小学校講堂で防災講習受講～防災ビデオによる講習

■防災用具の説明

小学校の体育館にて防災ビデオによる講習の後、宗像市の職員の方から、校庭の防災倉庫に保管されている防災用具の使い方について説明をしてもらいました。



東小校庭に集合



説明頂いた市職員の方々(右2人)



リヤカーの組立



ご自宅の避難場所の確認を！
防災マップは市役所でもらえます
PCスマホからは“宗像市防災マップ”で検索を

「指定避難所」への避難は、開設を確認してから

いよいよ冬の季節になりました。

空気が乾燥し、火災がおきやすい時期ですので、下記の点などを十分にお守りいただき、火の元には十分注意するようにお願いいたします。

火災について

火災では初期対応が非常に重要となります。消火活動では、個人でできることは限られていますが、地域の住民全体が初期対応を身につけることで、効果は一層高まります。地域の住民全体で訓練するようにしましょう。

火災の初期対応 3原則

大声で知らせる



- 「火事だー！」と大声を出し、家族や近所に知らせます。
- 小さな火でも119番。通報は近くの人に頼み、当事者は消火にあたります。

早く消火する



- 出火から3分以内が消火できる限度です。
- 水(※)や消火器だけでなく、座布団でたたき、ぬれたタオルや毛布で火を覆うなど、機転をきかせて消火にあたきましょう。

早く逃げる



- 天井に火が燃え移ったら、あきらめてすぐに避難しましょう。
- 延焼を防ぐため、燃えている部屋のドアや窓は閉めて避難しましょう。

※油火災には「水」は厳禁。消火器や、ぬれたタオルなどで鍋を塞ぎ空気を遮断して消火（窒息消火）しましょう。

火災防止の心得

- 寝タバコはしない、させない習慣を。放置やポイ捨ても厳禁。
- 火をつけたままコンロのそばから離れない。
- 家の周囲に燃えやすい物を置かない。放火させない環境づくり。
- ストーブには燃えやすい物を近づけない(カーテン・洗濯物に要注意)。給油や移動は必ず火を消してからにしましょう。
- コンセントはたこ足配線をやめ、ホコリを取り除く。
- マッチやライターを子どもの手の届く場所に置かない。

緊急時の連絡先

市役所(代表)

0940

36-1121

市役所生活安全課

0940

36-5050

警察

110

消防・救急

119

災害伝言ダイヤル

171